# 平成28年度　目標管理シート（部別組織目標）

| 部名 | 経済文化交流部 | 部長名 | 宮村　明彦 |
|---|---|---|---|

| 組織目標 | 市長八策のうち、(2)地の利を活かした戦略で、「経済の浮揚と雇用・にぎわいの創出」を図ります。また、スポーツによる健康増進、文化財及び伝統芸能の保存・継承・活用を図ります。 |
|---|---|

| (1)組織目標設定 | 最終協議 | ✓ | (2)中間レビュー | 最終協議 | | (3)目標達成 | 最終協議 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

※【目標管理における目標の設定等を行う上での協議について】を必ず確認の上、協議を済ませること。

| (1)最終協議日 | 4月　11日 | (2)最終協議日 | 月　　日 | (3)最終協議日 | 月　　日 |
|---|---|---|---|---|---|

| 重点施策番号 | 今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 | | | | 変更内容 | 中間レビュー（10月1日時点） | | 目標の達成状況(3月末時点見込) | | 次年度に向けて(引継ぎ事項) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 重点施策 | | ①具体的目標(当該年度で、何を(どのような現状を)どのような状態にするのか)<br>②課題、特記事項等 | 具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等 | | ・上半期(4月～9月)における進捗状況(活動実績等)<br>・下半期(10月～3月)に向けた課題等 | 中間進捗度 | ・目標達成のために行った取組(活動実績等)<br>・その取組による効果(達成できなかった事由、理由等) | 達成度 | ①具体的目標(次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか)<br>②課題、特記事項等 | |
| 経済文化交流部① | 八代港の国際貿易港としての港湾機能の整備拡充 | ①具体的目標 | ①平成27年のコンテナ貨物は、対前年比1.5%減の17,782TEUで、過去第2位の取扱量であったが、伸び率は鈍化。引き続き荷主へのローラー作戦を展開し、貨物獲得20,000TEUを目指す。<br>併せて、中国、台湾との直行便の誘致を図る。<br><br>②八代港が整備されることにより、地域経済の発展が期待できることから、国・県・県南地域自治体及び地元経済団体等と連携を図りながら、必要な施設整備に向け要望活動を行う。加えて、整備に必要な情報収集活動を行う。 | ①国内外でのポートセミナーを開催する。<br>〇年度を通して、3回程度開催する。<br><br>①県、港湾業者と連携し、八代港のPR及びトップセールスを含むポートセールスを行う。<br>〇年度を通して、500件の企業訪問を行う。<br><br>①新たな航路開設については、東南アジアと接続する台湾、華東・華南直行航路にターゲットを絞り、誘致活動を積極的に行う。<br>〇年度を通して、誘致活動を行う。<br>目標年度、H29年度。<br><br>②国、県に対し、地元関係団体・業者と連携し、―14m岸壁の航路整備、―10m岸壁の環境整備、冷蔵・冷凍倉庫等、また、今後、コンテナ船の大型化に伴う、大型ガントリークレーンの早期設置を含め、要望活度を行う。<br>〇上半期　国への要望会　2回開催<br>　　県への要望会　1回開催<br><br>〇下半期　国への要望会　1回開催 | | | | | | ①具体的目標 | |
| | | ②課題、特記事項等 | ①現在韓国船籍のコンテナ船が週3便寄港している。さらなる利便性向上のため、中国及び東南アジアとの貿易を促進するためには、新たな直行便の就航が必要である。<br><br>②港湾計画に基づく―14m岸壁と泊地は完成したものの、航路の整備が未整備である。コンテナ船の大型化への対応が必要である。 | | | | | | | ②課題・特記事項等 | |
| 経済文化交流部② | 豊富な観光資源を活用した交流人口の拡大 | ①具体的目標 | ①DMOやつしろの運営強化及びDMOと連携した着地型旅行商品の開発、物産の販路拡大、インバウンド対策等観光物産の振興を図る。<br>〇年間観光客入込数<br>H26　238万人⇒　H30　245万人<br><br>②八代ブランドの確立を図る | ①DMOと連携し、観光物産事業の推進を図るため、庁舎内に横断組織を設置し、情報共有し役割分担を行い事業を展開する。<br>〇4～5月　庁内横断組織の設置<br>〇4～H29．3月　DMOやつしろ支援組織の設立準備<br>〇年度を通して、DMOやつしろと情報共有、連携会議を開催する。<br><br>②八代亜紀さんを活用した、八代のイメージアップ事業を展開するとともに、マスメディアやSNS等を活用したPRを強力に行う。<br>〇4月　八代亜紀さんとの契約締結<br>〇4月　大阪心斎橋のおけるオーロラビジョンによる広告開始<br>〇4月　物産展開催業務の委託<br>〇年度を通して、八代ごろよか計画の見直しを行う。 | | | | | | | ①具体的目標 | |
| | | ②課題、特記事項等 | ①新たに発足したDMOやつしろの自走化のための支援を行う必要あり。<br><br>②PR不足による認知度が低く販路拡大に繋がらない。<br><br>②ごろよか計画の見直しが必要。 | | | | | | | ②課題・特記事項等 | |

| 重点施策番号 | 今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 | | | | 変更内容 | 中間レビュー （10月1日時点） | | 目標の達成状況（3月末時点見込） | | 次年度に向けて（引継ぎ事項） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 重点施策 | ①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか）<br><br>②課題、特記事項等 | | 具体的目標を達成するための<br>具体的な方法、手段、スケジュール等 | | ・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等）<br>・下半期（10月～3月）に向けた課題等 | 中間進捗度 | ・目標達成のために行った取組（活動実績等）<br>・その取組による効果(達成できなかった事由、理由等) | 達成度 | ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか）<br><br>②課題、特記事項等 | |
| 経済文化交流部③ | **・食品関連企業や研究機関の立地<br>・県南の「商工業集積地」としての役割分担** | ①具体的目標 | ①「フードバレー構想」に基づく、食関連企業の集積を促進する。<br><br>②「フードバレー構想に基づく産業用地適地選定調査結果」に基づき、南インター周辺への食品関連産業を始めとした産業集積を図る。 | ①「食関連産業設備投資支援事業」（設備投資助成金）を活用し、食関連企業の生産性の向上を支援する。<br>補助限度額：200万円（対象経費の10%）<br>〇3月まで　助成金支給企業数　15事業<br><br>②「市企業振興促進条例」を活用し、トップセールスを含む積極的な企業誘致活動を行い、「八代南インター周辺」地域への企業立地を誘導する。併せて、「フードバレー構想」に基づく産業用地適地の整備手法の検討を行う。<br>・企業誘致関係事業<br>〇年度を通して、条例に基づく支援を実施<br>〇3月まで　企業訪問件数　250企業<br>・産業用適地関係事業<br>〇5月まで　庁内産業用地適地検討会を発足<br>〇H29．3月まで　方向性と整備手法を見出す<br>〇H29．3月まで　県担当課と協議を行う | | | | | ①具体的目標 | |
| | | ②課題、特記事項等 | ①新規事業を開始することから、周知・PRが重要となる。<br><br>②フードバレー構想に伴う、産業集積地の計画地区内には、農振農用地があり、除外手続き等法的手続きが必要である。 | | | | | | | ②課題・特記事項等 | |
| 経済文化交流部④ | **商店街や中小企業等に対する支援** | ①具体的目標 | ①中心市街地の活性化のため、民間投資の促進を図るとともに、誘客を図るため基盤整備の検討を行い、具体的な方向性を見出す。また、、空き店舗の解消と店舗改装等に支援し、中心商店街の活性化を図る。<br><br>②「市企業振興促進条例」に基づき地場企業の振興を図る。また、各種支援事業を活用することで、市内企業の競争力を高め、産業の活性化を図る。 | ①民間からの中心市街地への投資を促進するための基盤整備について、庁内での検討を継続するとともに、中心商店街の利便性の向上のため空き店舗の解消を促進する。<br>・基盤整備事業<br>〇年度を通して、毎月2回程度会議を開催する。<br>〇3月まで　具体的な方向性を見出す。<br>・商店街活性化事業<br>〇3月まで　商店街再生事業利用件数　10件<br><br>②各種支援事業を展開する。<br>・新技術・新製品研究開発支援事業<br>〇4月～5月　募集<br>〇5月　審査委員会開催<br>支援想定企業数　3事業所<br><br>・中小企業販路開拓支援事業<br>〇4月～5月　募集<br>〇5月　審査委員会開催<br>支援想定企業数　4事業所<br><br>・経営者人材育成支援事業<br>〇3月まで　5件 | | | | | | | |
| | | ②課題、特記事項等 | ①新庁舎建設に伴う中心市街地のまちづくり構想では、国の制度などを活用した整備計画が検討中である。また、民間による再開発事業が検討中である。<br><br>②対象要件・優遇措置を適宜見直し、効果的な施策を進める必要がある。 | | | | | | | | |

| 重点施策番号 | 今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 | | | | 変更内容 | 中間レビュー （10月1日時点） | | 目標の達成状況（3月末時点見込） | | 次年度に向けて（引継ぎ事項） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 重点施策 | ①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか）<br>②課題、特記事項等 | | 具体的目標を達成するための<br>具体的な方法、手段、スケジュール等 | | ・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等）<br>・下半期（10月～3月）に向けた課題等 | 中間進捗度 | ・目標達成のために行った取組（活動実績等）<br>・その取組による効果(達成できなかった事由、理由等) | 達成度 | ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか）<br>②課題、特記事項等 | |
| 経済文化交流部⑤ | **八代妙見祭を世界に情報発信** | ①具体的目標 | ①11月末に、ユネスコ無形文化遺産登録が予定されている八代妙見祭を盛り上げ、観客動員数　22万人（御夜を含む）を目指す。 | ①八代妙見祭保存振興会のメディア情報部会、観光振興課、DMOやつしろ、観光ガイド協会等関係団体と連携し、外国人を含む観光客が、観光しやすい環境づくり、祭り当日の市内各所での観覧場所づくりなど、おもてなしの強化を図る。<br>〇5月～8月　3回会議を開催し、対策の検討。<br><br>〇10月までに　妙見祭祭礼絵巻複製の制作：現物の毀損や色あせを防ぎ、各種イベントに活用。<br><br>〇10月までに　ユネスコ登録PR：同時登録予定の九州4祭礼（戸畑祇園、博多祇園山笠、唐津くんち、日田祇園）と広域連携したパンフレットの制作。<br><br>〇10月までに　妙見祭HPの多言語化：英語、韓国語、中国語版の制作。<br><br>〇当日　観覧席拡充：出町公園と八代駅前にそれぞれ150人分の桟敷席を増設。<br><br>〇当日　AR（拡張現実）の活用：祭りの動画を配信する仕組みを入れ込んだパンフレットを作成。 | | | | | | ①具体的目標 | |
| | | ②課題、特記事項等 | ①11月22日のお下り、御夜、23日当日のお上りだけでなく、年間を通した祭りの魅力を見せる手立てが必要。<br><br>①観光ガイドなど、受入体制の強化が必要。 | | | | | | | ②課題・特記事項等 | |
| 経済文化交流部⑥ | **スポーツ大会の誘致及びスポーツの振興、環境整備** | ①具体的目標 | ①2020東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプとして、バドミントン競技（インドネシア）を招致する。<br><br>②オリンピックを始めとする国際大会等で活躍できる本市出身のトップアスリートの育成する。 | ①関係機関と連携し、事前キャンプの誘致に向け積極的に取組む。<br>〇上期　事前キャンプ等誘致委員会（仮称）の立ち上げ及び開催<br>〇下期　日本バドミントン協会等関係団体との協議（情報収集、キャンプ地誘致の提案）<br><br>②NPO法人八代体育協会と連携し、トップアスリートの育成に必要なプログラム（フィジカル、メンタル等専門トレーニング等）を実施する。また、選手・監督等の合宿・遠征等への支援を行う。<br>本年度は、概ね25人の指定選手を選考する。<br>〇4月　選手募集<br>〇5月　選考会開催<br>〇6月　強化選手指定<br>〇6月～H29.3月　プログラムの実施 | | | | | | ①具体的目標 | |
| | | ②課題、特記事項等 | ①2019年には、ラグビーワールドカップ（全国12会場：うまかな・よかとこスタジアム（熊本市）を含む）、女子世界ハンドボール大会（熊本大会）が開催される。<br>①同年、全国高校総体（南九州インターハイ）が、熊本で開催される。<br><br>②トップアスリート事業は、NPO法人八代市体育協会が実施主体（市の補助事業）で、市は連携・支援を行う。 | | | | | | | ②課題・特記事項等 | |